

令和7年度 学力向上を図るための全体計画

01練馬区立旭丘小学校

東京都教育委員会 教育目標
○互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間
○社会の一員として、社会に貢献しようとする人間
○自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人間
練馬区教育委員会 教育目標
○教育基本法の精神にのっとり、人間尊重の精神を基調とし、学校・家庭・地域社会との緊密な連携のもとに、心身ともに健康で知性と感性に富み、人間性豊かな子供の育成を図る。

学校教育目標
○よく考え工夫する子ども
○思いやりのある心やさしい子ども
○進んでものごとにとりくむ子ども
○体力のある元気な子ども

保護者の願い
○よりよい人間関係と社会性の育成
○学力の向上と個性の伸長
○小規模校の特色を生かした指導の充実
地域・家庭の実態
○学校への関心や期待が高く、P T A活動や学校行事に積極的に参加するなど、とても協力的である。
○小中一貫教育校設立への理解が深まってきた。

各教科の指導の重点
○基礎・基本の確かな定着を図る。
○日常の授業の中で、言語活動を充実させ、児童の思考力、判断力、表現力の育成を図る。
○出前授業や地域人材を活用した体験学習を重視する。
総合的な学習の時間の指導の重点
○体験型の学習を行ったり、探究的な学習を展開したりすることで、自ら学ぶ能力や態度を育てる。
外国語活動の指導の重点
○A L Tとの会話や活動を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

学校経営方針 (学力向上に関わる要点)
① 基礎的・基本的な知識・技能を着実に獲得しながら、既存の知識・技能と関連付けたり組み合わせたりしていくことにより、その定着を図る。
② 言語活動、観察・実験、問題解決型の学習などを主眼とし、各教科等の「見方・考え方」が働くような学習活動を通して、思考力・判断力・表現力を育む。

道徳教育の指導の重点
○生命尊重、人間尊重の精神を基盤とし、全教育活動で道徳的価値について計画的、発展的に指導する。
特別活動の指導の重点
○一人一人の実践的活動を大切にし、学級活動、児童会活動、クラブ活動を通して、協力し合い、助け合える能力や態度を育てる。
生活指導の重点
○学習規律の徹底を図り、組織的な対応を進める。
キャリア教育の重点
○勤労を重んじ目標に向かって努力する態度を育てる。

本校における「確かな学力」
本校では学習指導要領に示された基礎基本を重視し、次の3つの力を育成することで確かな学力を向上させる。
1 知識及び技能
2 思考力、判断力、表現力
3 主体的に学習に取り組む態度

本校の授業改善に向けた視点					
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫	小中一貫教育の充実
○「年間指導計画」や、指導事項の系統性に着目して作成した「課題改善カリキュラム」に基づいた計画的な指導を行い、児童に確かな学力を付けさせることのできる指導を展開する。	○基礎・基本の定着をより一層図るため、国語の授業時数を標準時数よりも多く設定する。	○全教科にわたって、学習指導要領を見直し、研究主題を「主体的な学び、対話的な学びの実現を目指して」と設定し、低・高学年分科会の授業研究、個々の授業実践を通して指導の工夫・改善を図る。	○授業の中で指導と評価の一体化を図り、基礎・基本の定着を図る。	○学校公開日や道徳授業地区公開講座、保護者会、個人面談などの充実を図り、保護者や地域の方々との相互理解をさらに深める。	○学習指導要領に準拠しつつ、義務教育9年間を通じて、知徳体の調和の取れた児童生徒を育成するために、小中一貫教育実践校として、学力の向上や文化・芸術教育の推進等において旭丘中学校、小竹小学校と三校合同研究を実施し、小中一貫教育の一層の充実を図る。
○算数習熟度別少人数指導の効果を高めるようグループ編成等を工夫する。個に応じた指導の工夫・改善に努める	○様々な教科で体験学習や交流学習を編成することを通して、問題解決的な学習を展開させる。	○主任教諭・主幹教諭を講師とした研修会を職員会議後に行ったり、授業観察期間中に教員が互いの授業を参観しあったりすることで、授業力向上を図る。	○各教科の評価テスト、ベーシックドリルを基にした算数基礎基本調査の結果を分析して課題を把握し、授業改善推進プランに反映し、個々の教員の授業改善に生かす。	○学校関係者評価を実施し、その結果分析を行う。保護者や学校評議員に対する説明責任を果たすとともに、家庭学習の充実等家庭・地域との連携による学力向上を図る。	
○複数学年での授業や、特別支援学級との交流学習を行い、児童が豊かな学習経験ができるようにする。	○朝学習（モジュール学習）を実施することにより、教育活動を充実させるとともに、授業時数を確保し日頃の学習活動を充実する。課題をもたせ読書に取り組んだり、読書旬間などを設定し読書活動の充実を図る。				

検証方法
○学校評価を活用し、児童・教員・保護者等の回答傾向から課題を明らかにする。
○学力状況調査および、単元ごとの到達度テストを活用
○発言記録、児童による自己評価による検証
○管理職による授業観察